

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	このき港校			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年2月20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年2月15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学生だけでなく中高生の利用者も多いため、異年齢のかわりができる	活動のグループ分けや席をあえて異年齢で組むことで異年齢の交流に繋げている 自由時間の遊びでも職員が間に入り、異年齢の交流を行っている	活動や遊びの中で自然に異年齢の関わりができる場を作っていく
2	週に1度、活動で理学療法士が計画した運動プログラムを行っている	一斉ではなく、2つのグループに分け、少人数で実施することで手厚い指導を行っている 子どもたちの興味・関心に合わせて支援やプログラムの取り組みを行っている	自由時間の際にも運動につながるような遊びを行っていく
3	工作などの活動は少人数で行い、一人ひとりにしっかり対応できるようにしている	工作などは利用者全員で行うとレベル差がでてしまう為、少人数で行う事で一人ひとりにしっかりと教える事ができるようにしている	子どもたちが楽しく活動ができるよう工作活動等の充実も考えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	10名定員満員になる日が少ない	活動がマンネリ化している	魅力的な楽しい活動を考える 早めに利用者数の確認を行い、ご利用者様へ声掛けをする
2	子どもの体が大きく運動量もある為、少し施設が小さい	中学生や高校生が多い為、部屋が狭く感じる	小さい子を増やしていく等して部屋が狭く感じない工夫をしていく また、からだを動かしたい子どもがたくさんいる日は公園に行く等して対応していく
3	施設と駐車場が離れていて大きな歩道もあるので少し危険がある	事業所前で降ろす事ができる時は前で降ろしたり、道路を歩く前に職員と子どもで約束をし危険が少しでも少なくなるように努めている	小さい子や多動な子など危険を感じる子に関しては基本的に事業所前で降ろすようにしていく